



株式会社インフォメーション・ディベロプメント 平成22年3月期 決算のご説明



2010年
6月9日



1. 当期の業績概況
2. 業界動向と同業他社の状況
3. 通期の見通しと将来の方向性について

1. 当期の業績概況

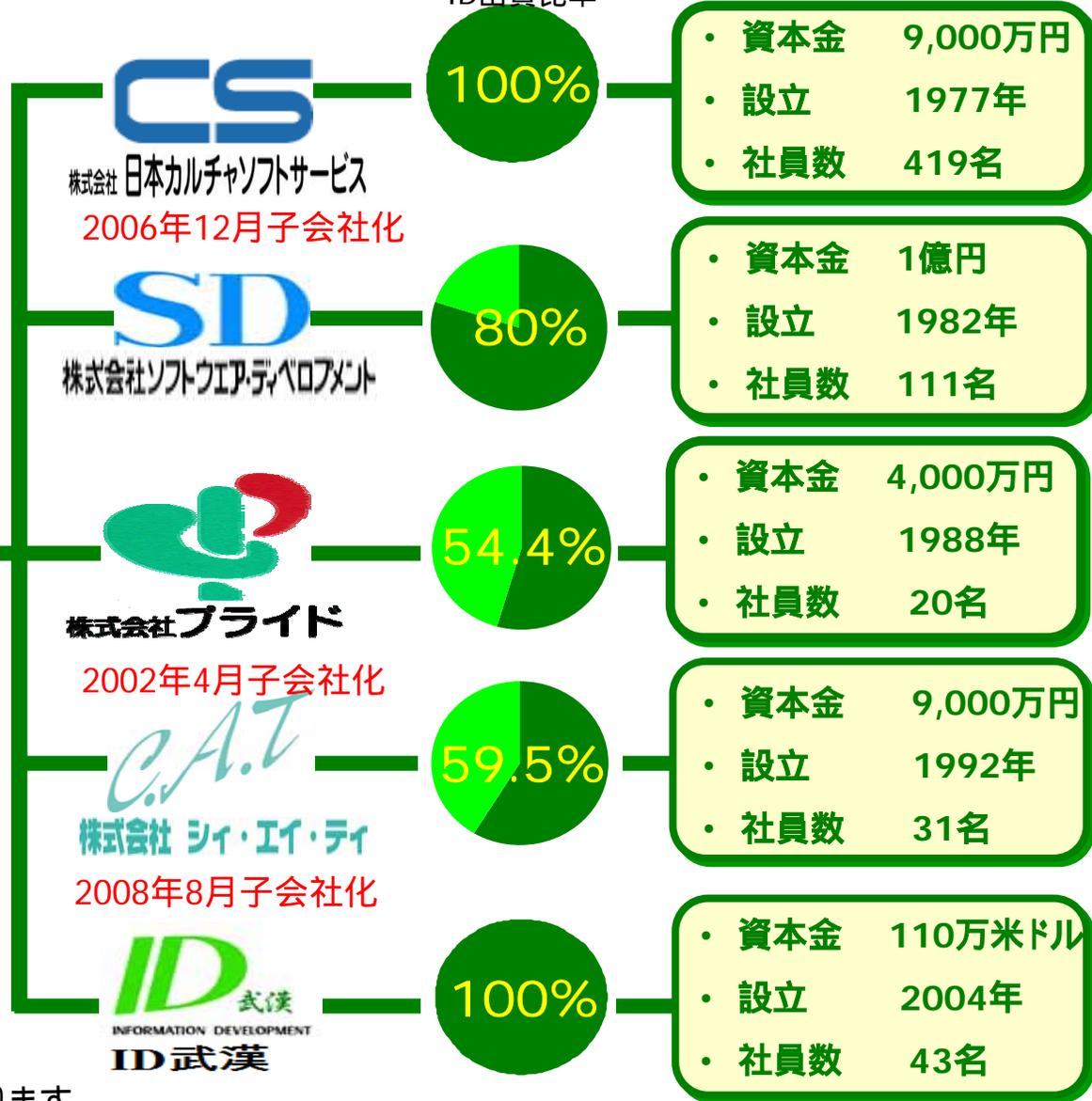
- ◆ 決算ハイライト
- ◆ 損益状況と財政状態
- ◆ 売上高と利益の分析
- ◆ 国内連結子会社について
- ◆ 株式情報



INFORMATION DEVELOPMENT
株式会社 インフォメーション・デベロップメント

ID出資比率

- ★ **資本金**
5億9,234万円
- ★ **設立**
1969年10月
- ★ **社員数**
1,689名



2010年3月末時点
出資比率は自己株式を控除しております。

Change or Die!

▶ 売上高 172.6億円 (前年同期比 6.5%)

▶ 営業利益 8.5億円 (前年同期比 19.5%)

▶ 経常利益 8.6億円 (前年同期比 22.1%)

▶ 当期純利益 1.5億円 (前年同期比 72.5%)

▶ 売上高、営業利益、経常利益は修正予想(2009/10/30発表)から上方修正、特別損失の計上により、当期純利益は下方修正(2010/4/23発表)

連結損益状況



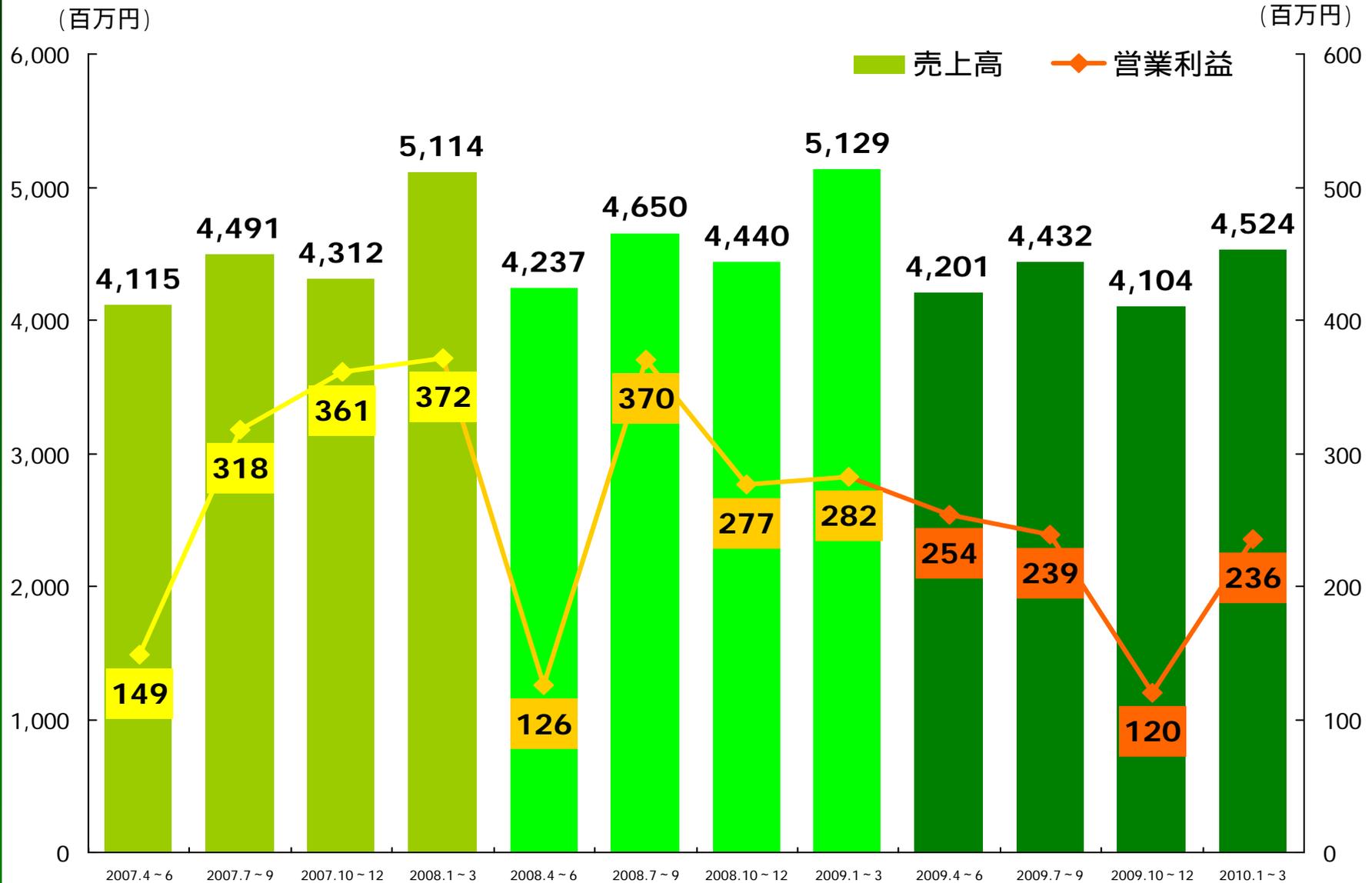
Change or Die!

(百万円)	2009.3	構成比 (%)	2010.3	構成比 (%)	前期比	期初計画比
売上高	18,458		17,263		△6.5%	△7.4%
売上原価	15,018	81.4	13,943	80.8	△7.2%	△7.0%
売上総利益	3,439	18.6	3,319	19.2	△3.5%	△9.2%
販管費 (のれん償却額)	2,382 99	12.9	2,468 150	14.3	+3.6% +50.6%	△2.2% -
営業利益	1,057	5.7	850	4.9	△19.5%	△24.9%
経常利益	1,109	6.0	864	5.0	△22.1%	△22.1%
当期純利益	563	3.1	155	0.9	△72.5%	△72.5%
1株当たり 当期純利益	75.87円		20.88円		△54.99円	△55.86円

のれん減損2億51百万円を特別損失として計上
(株式会社シィ・エイ・ティ株式取得に係るのれん未償却残高の全額)

連結損益四半期推移

Change or Die!



単体損益状況

Change or Die!

(百万円)	2009.3	構成比 (%)	2010.3	構成比 (%)	前期比	期初計画比
売上高	13,994		13,039		△6.8%	△6.0%
売上原価	11,380	81.3	10,522	80.7	△7.5%	△6.1%
売上総利益	2,614	18.7	2,516	19.3	△3.7%	△5.4%
販管費	1,741	12.4	1,728	13.3	△0.7%	△1.5%
営業利益	873	6.2	788	6.0	△9.7%	△12.9%
経常利益	986	7.0	844	6.5	△14.3%	△10.5%
当期純利益	563	4.0	91	0.7	△83.8%	△83.0%
1株当たり 当期純利益	75.91円		12.32円		△63.59円	-

株式会社シィ・エイ・ティの株式評価損3億82百万円を特別損失として計上

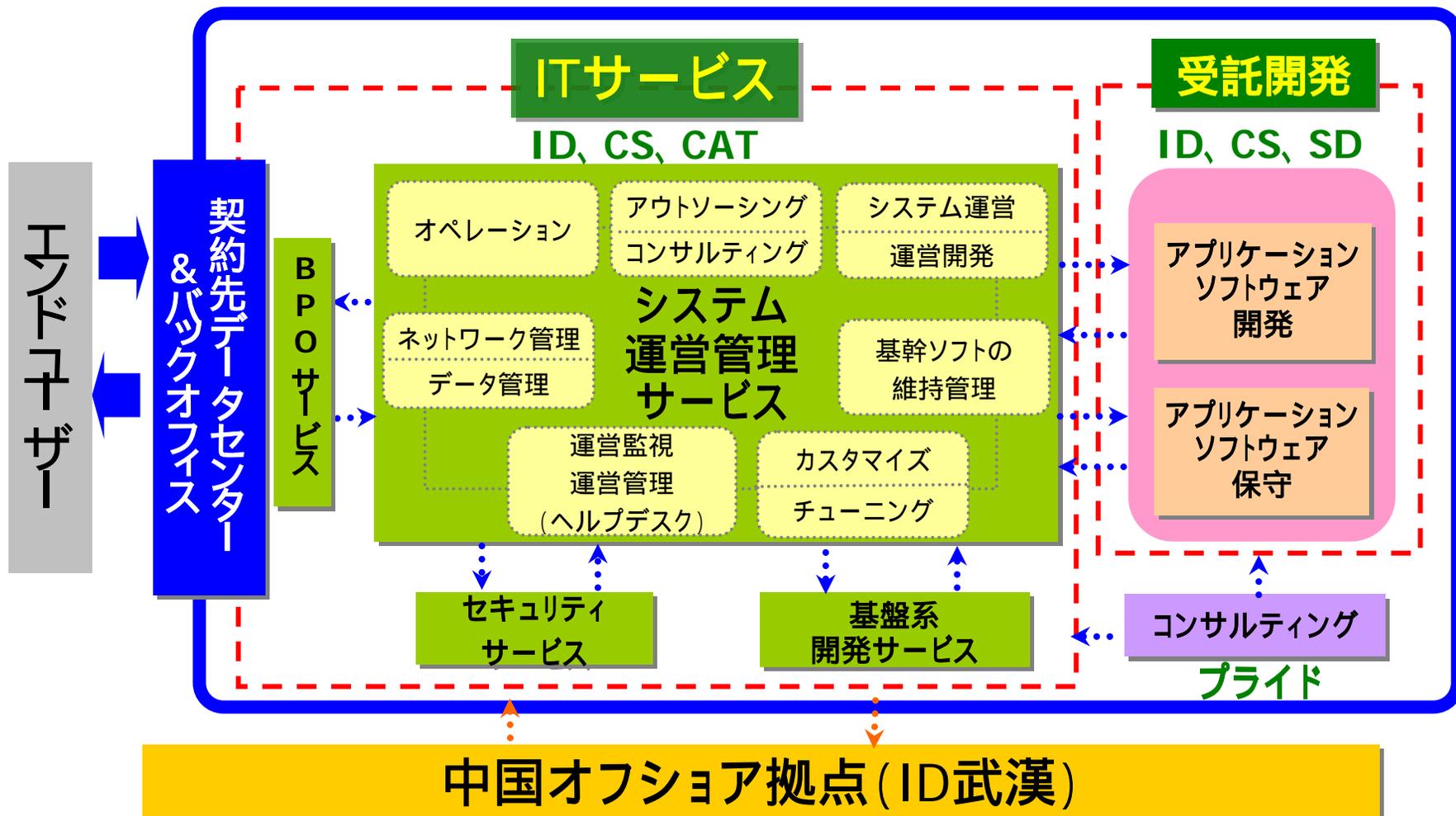
Change or Die!

(百万円)	2009.3	2010.3	前期末比
流動資産	5,187	4,919	△5.2%
現金及び預金	1,894	1,773	△6.4%
固定資産	4,867	4,564	△6.2%
総資産	10,055	9,483	△5.7%
負債	4,159	3,589	△13.7%
有利子負債	906	698	△22.9%
利益剰余金	5,020	5,034	+0.3%
株主資本	5,728	5,743	+0.2%
営業キャッシュ・フロー	913	488	
投資キャッシュ・フロー	△442	△255	
財務キャッシュ・フロー	△122	△354	

i-BOS (ID's Business Operations-Outsourcing Service)

社会の発展に寄与するIT基盤を支える情報技術のアウトソーシングサービス

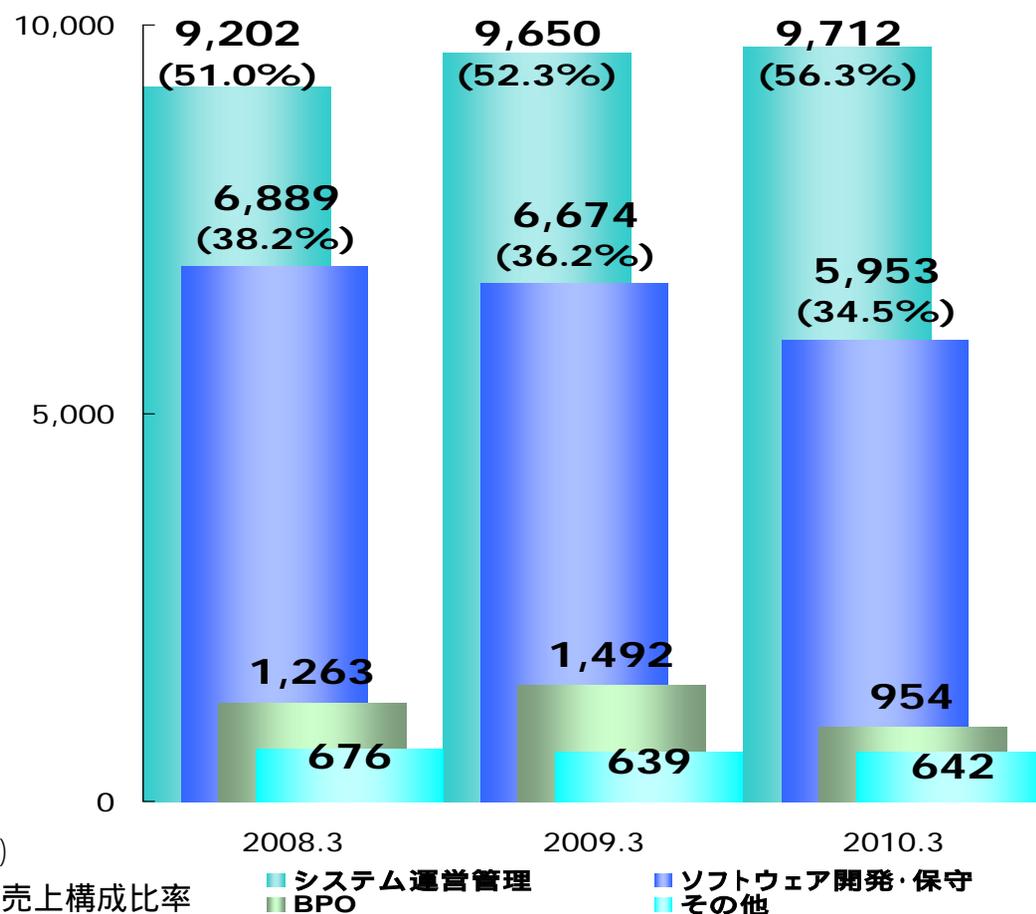
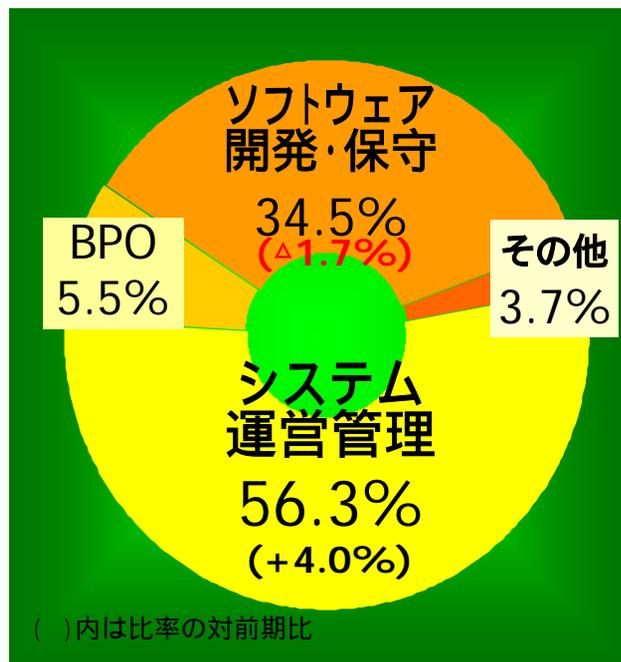
Change or Die!



売上高分析 (事業別)

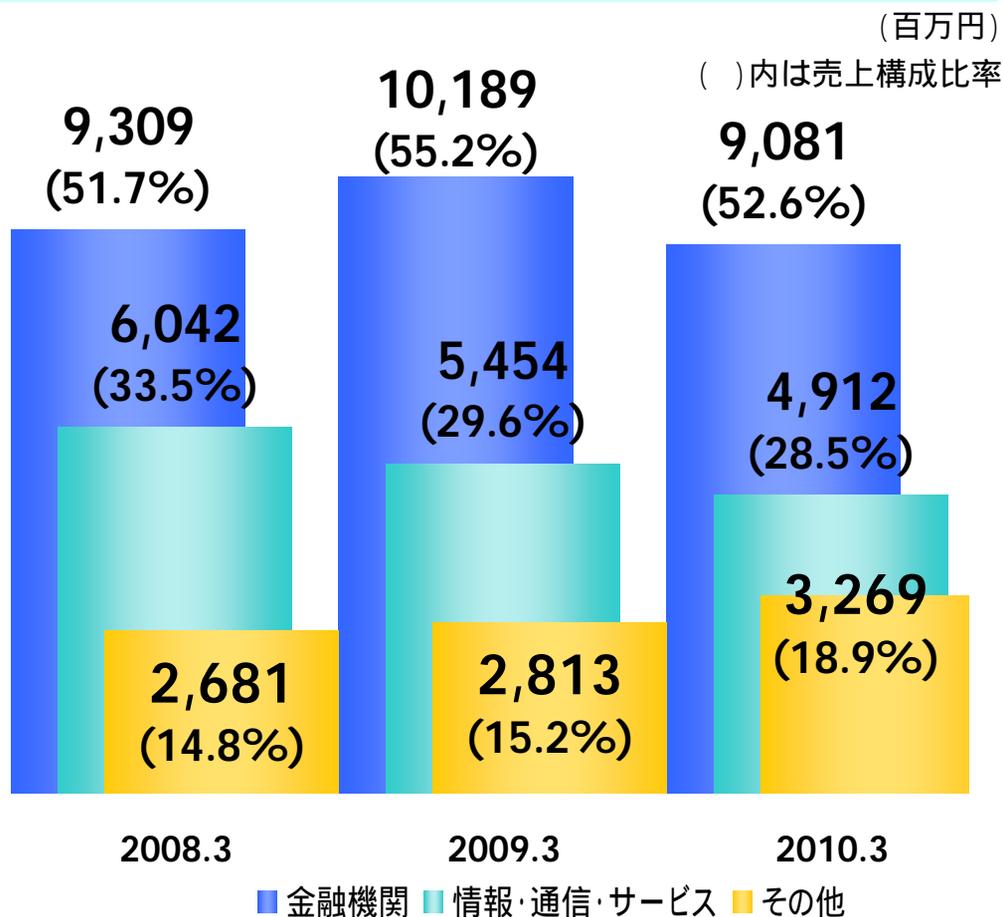
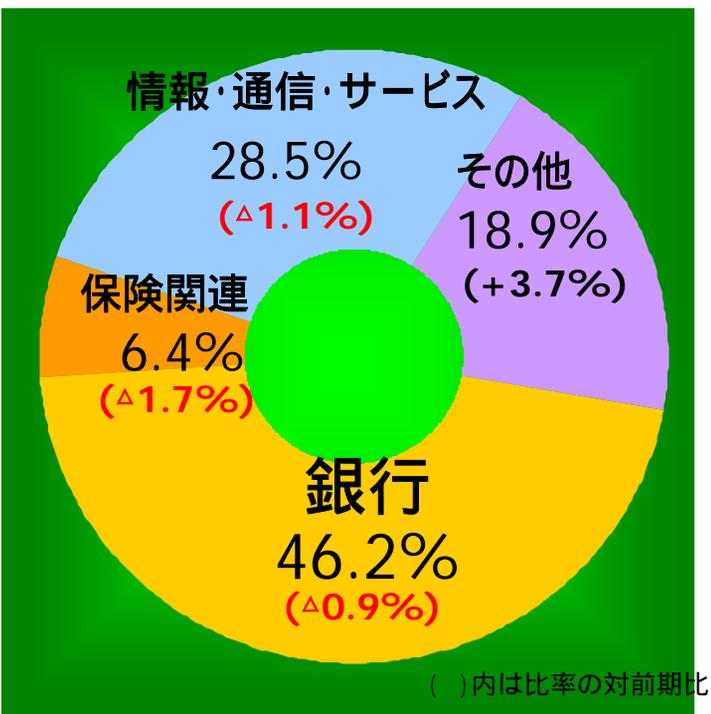
前期比	システム 運営管理	ソフトウェア 開発・保守	BPO	その他
	+0.6%	△10.8%	△36.1%	+0.5%

事業別売上高構成



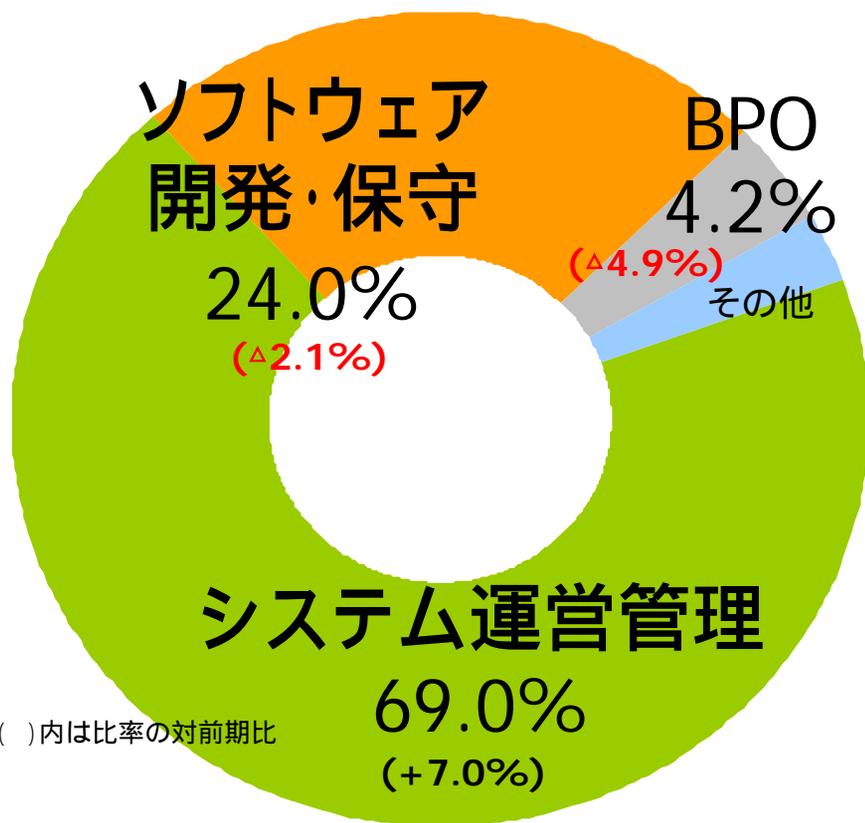
前期比	金融機関	情報・通信・サービス	その他
	△10.9%	△9.9%	+16.2%

顧客別売上高構成

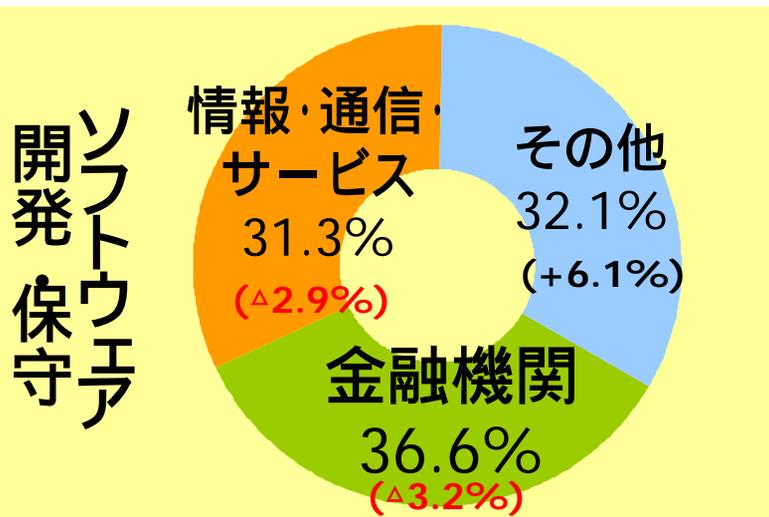
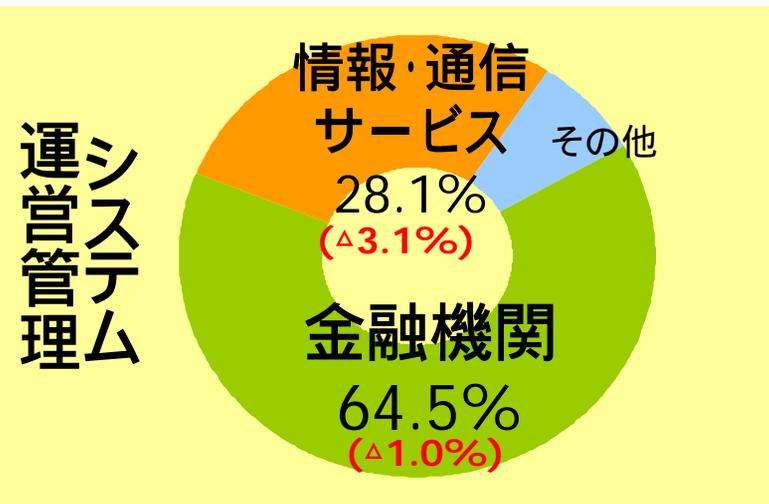


金融機関に強いデータセンターの運営管理サービス

< 銀行・保険向け売上高 >



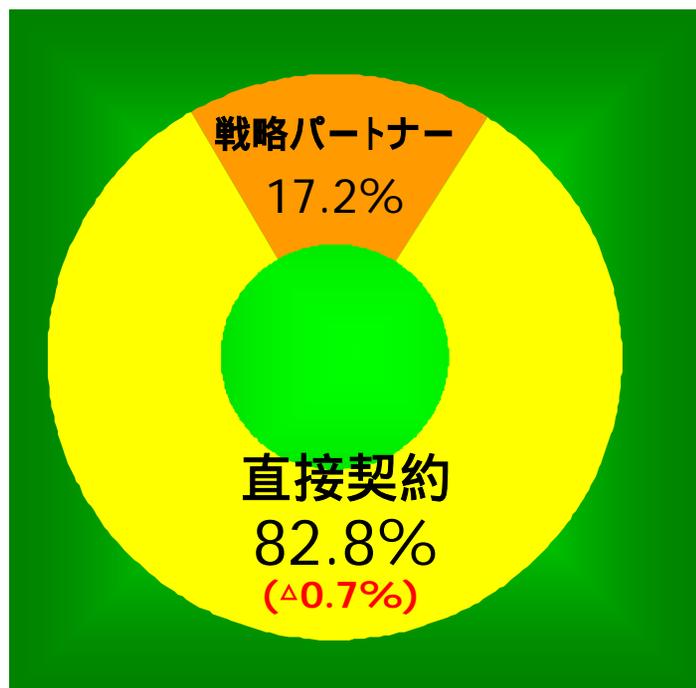
()内は比率の対前期比



Change or Die!

直接契約は8割以上

契約形態別売上高構成



< 当社の主要顧客 >

直接契約

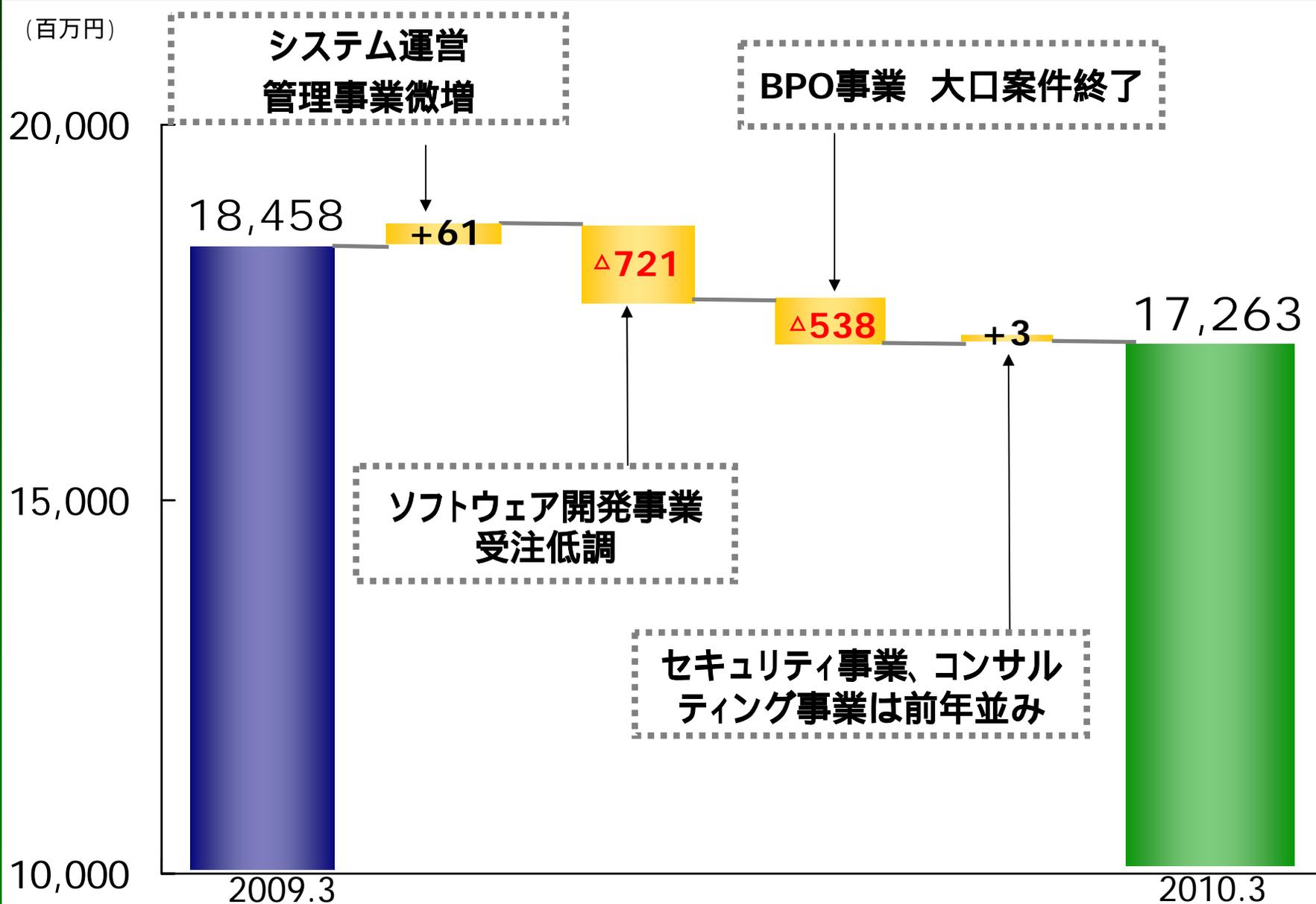
- ・金融機関
- ・情報・通信・サービス
- ・その他
(製造・輸送・公共団体・エネルギー等)

戦略パートナー

- ・大手ベンダー

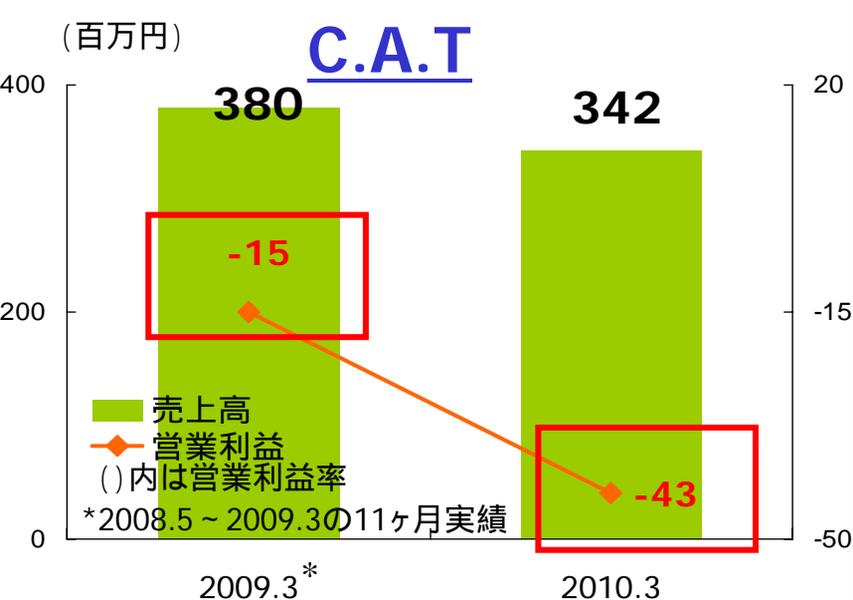
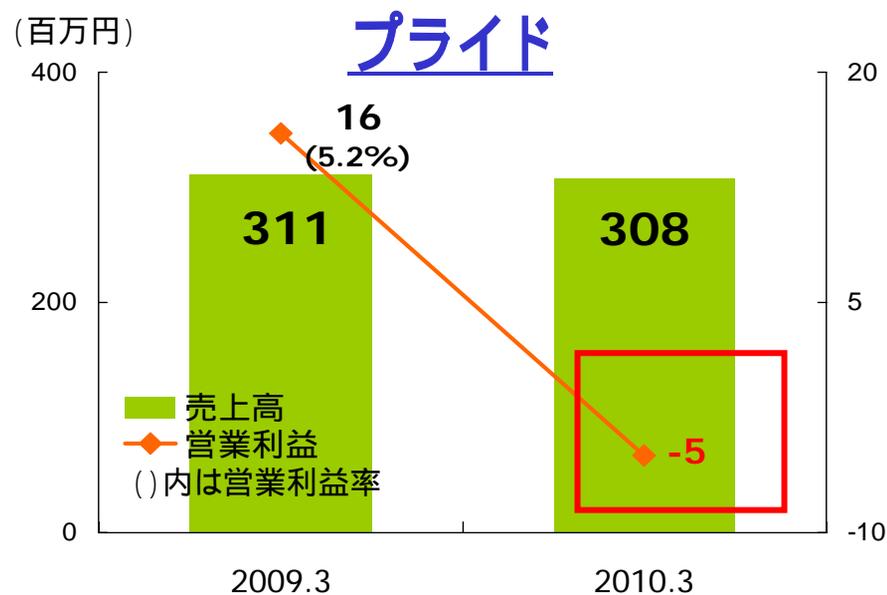
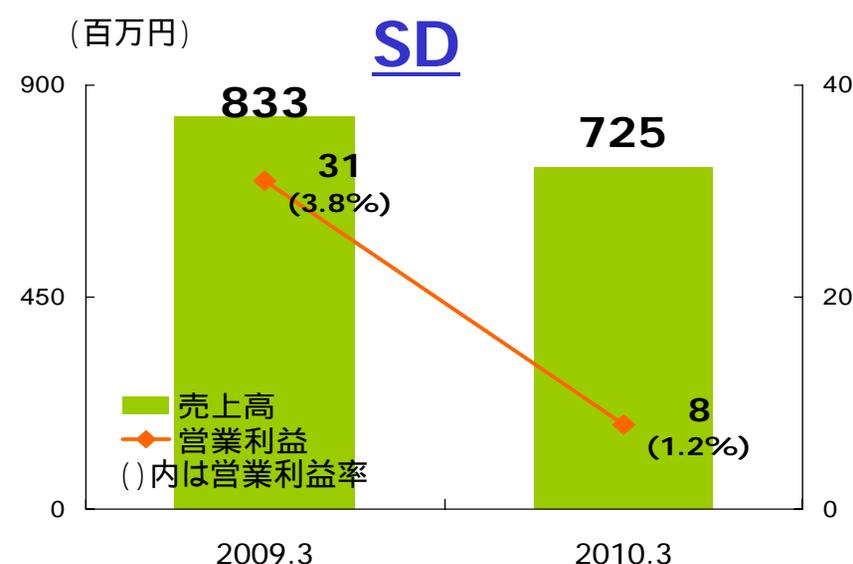
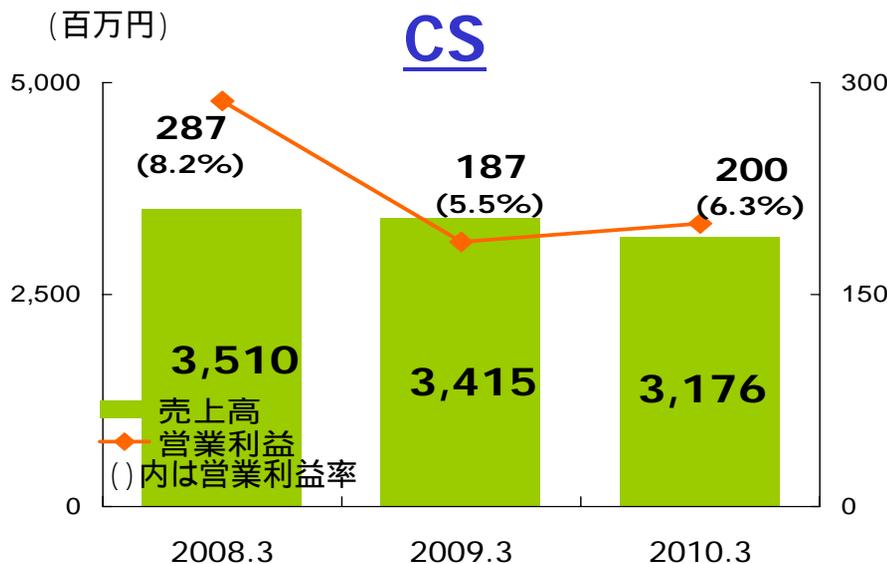
連結売上高の対前期比増減要因

Change or Die!



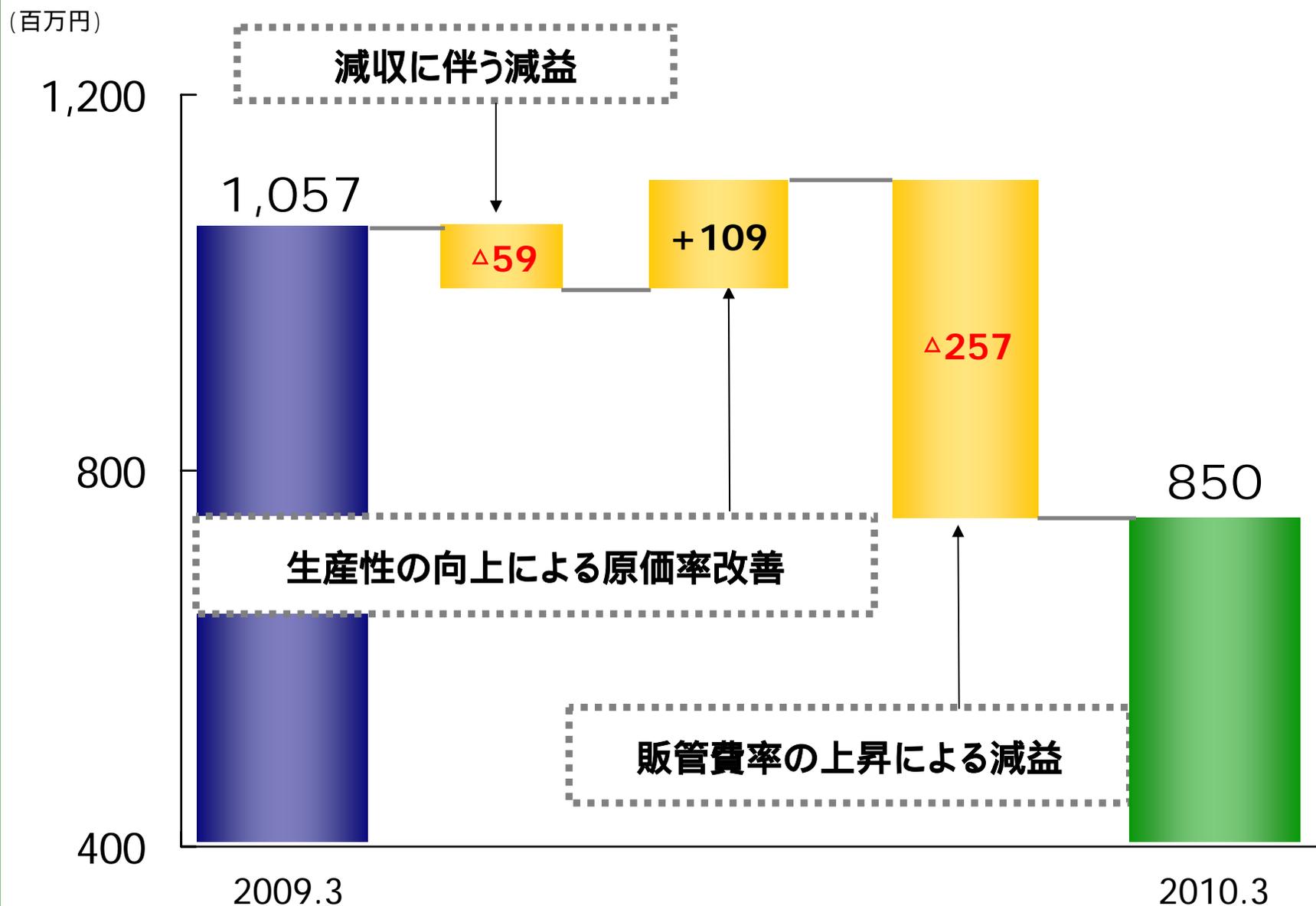
国内連結子会社について

Change or Die!

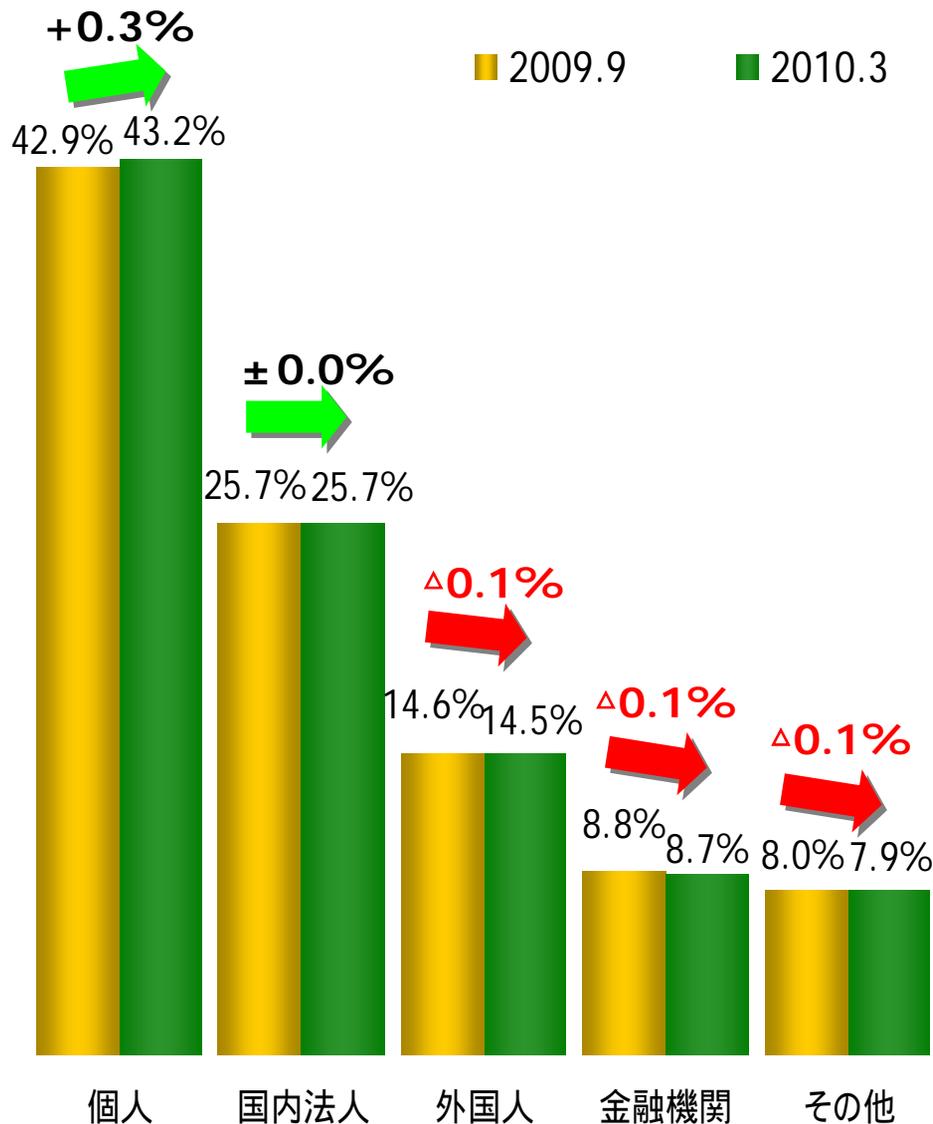


連結営業利益の対前期比増減要因

Change or Die!



株主構成の推移



大株主 (TOP10)

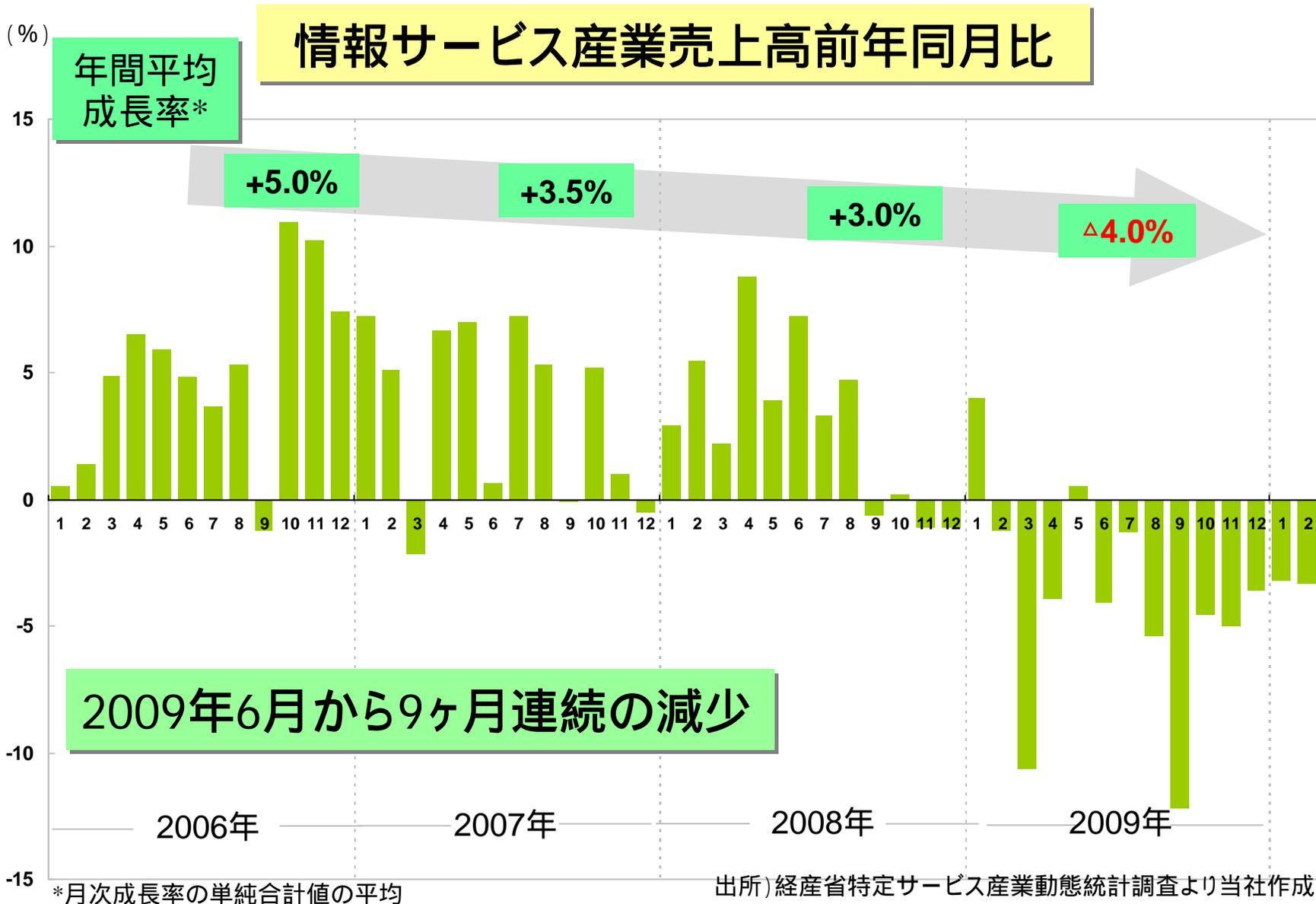
株主数1,928名 (2009年9月末比+14名)

順位	大株主	持株比率 (%)
1	有限会社エイ・ケイ	8.7%
2	株式会社みずほトラストシステムズ	8.5%
3	タイヨー パール ファンド エルピー	8.1%
4	株式会社インフォメーション・ディベロ プメント	7.5%
5	ID従業員持株会	7.2%
6	ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505104	5.4%
7	みずほ信託銀行株式会社	3.5%
8	株式会社ケー・シー・エス	3.5%
9	日本マスタートラスト信託銀行株式会 社(信託口)	2.9%
10	竹田和平	2.6%

2. 業界動向と同業他社の状況について

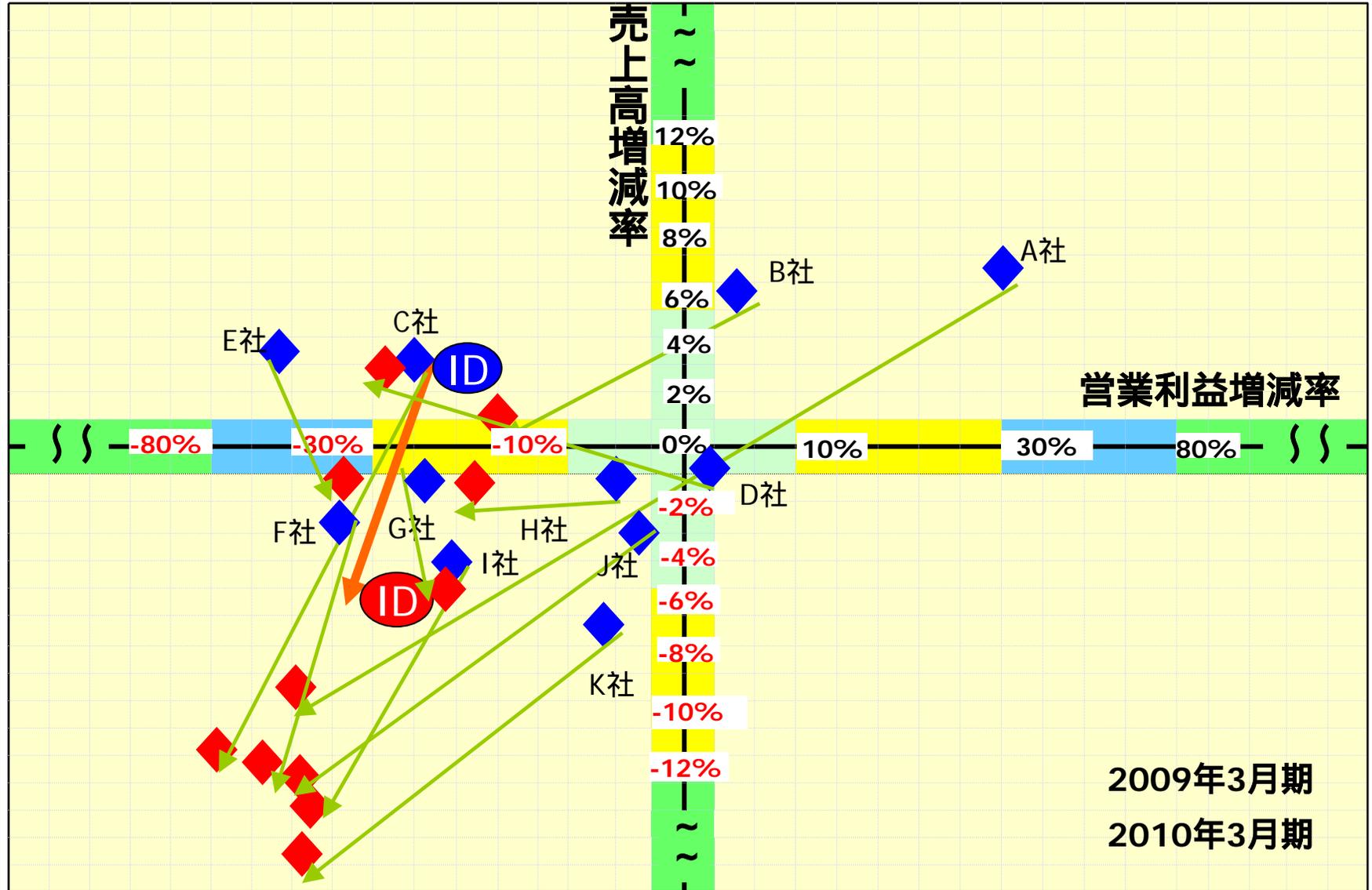
- ◆ 情報サービス業界の動向
- ◆ 同業他社の状況

Change or Die!



同業他社の決算状況(2010年3月期実績)

Change or Die!

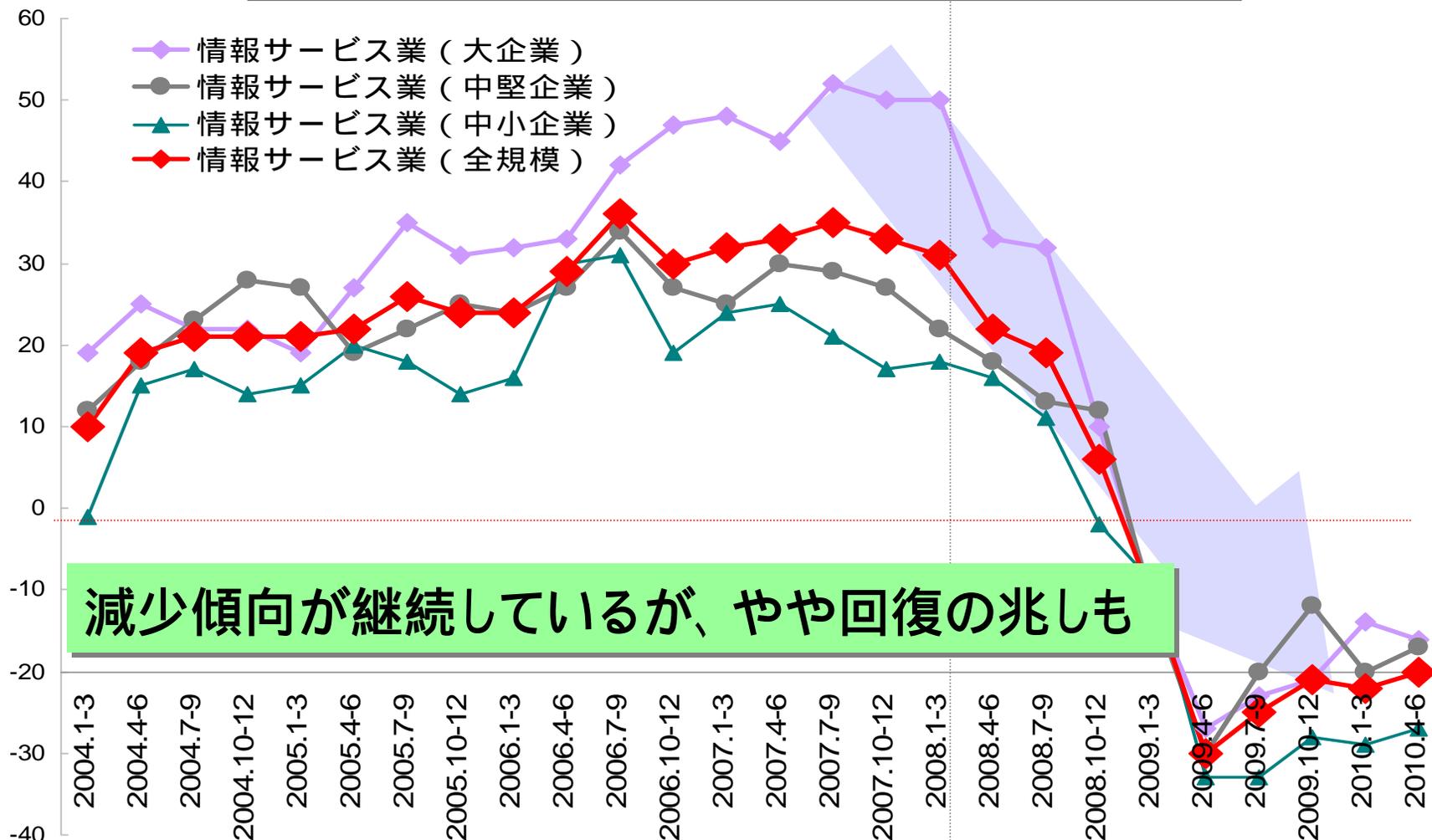


出所) 各社2010年3月期決算発表資料より当社作成

3. 通期の見通しと今後の方向性について

- ◆ 業界動向と2011年3月期の業績見通し
- ◆ 今後の方向性ー成長タクティクス
- ◆ CSR経営について

情報サービス業 業況DI値(予測)推移



減少傾向が継続しているが、やや回復の兆しも

出所) 日銀短観より当社作成

2011年3月期業績の見通し

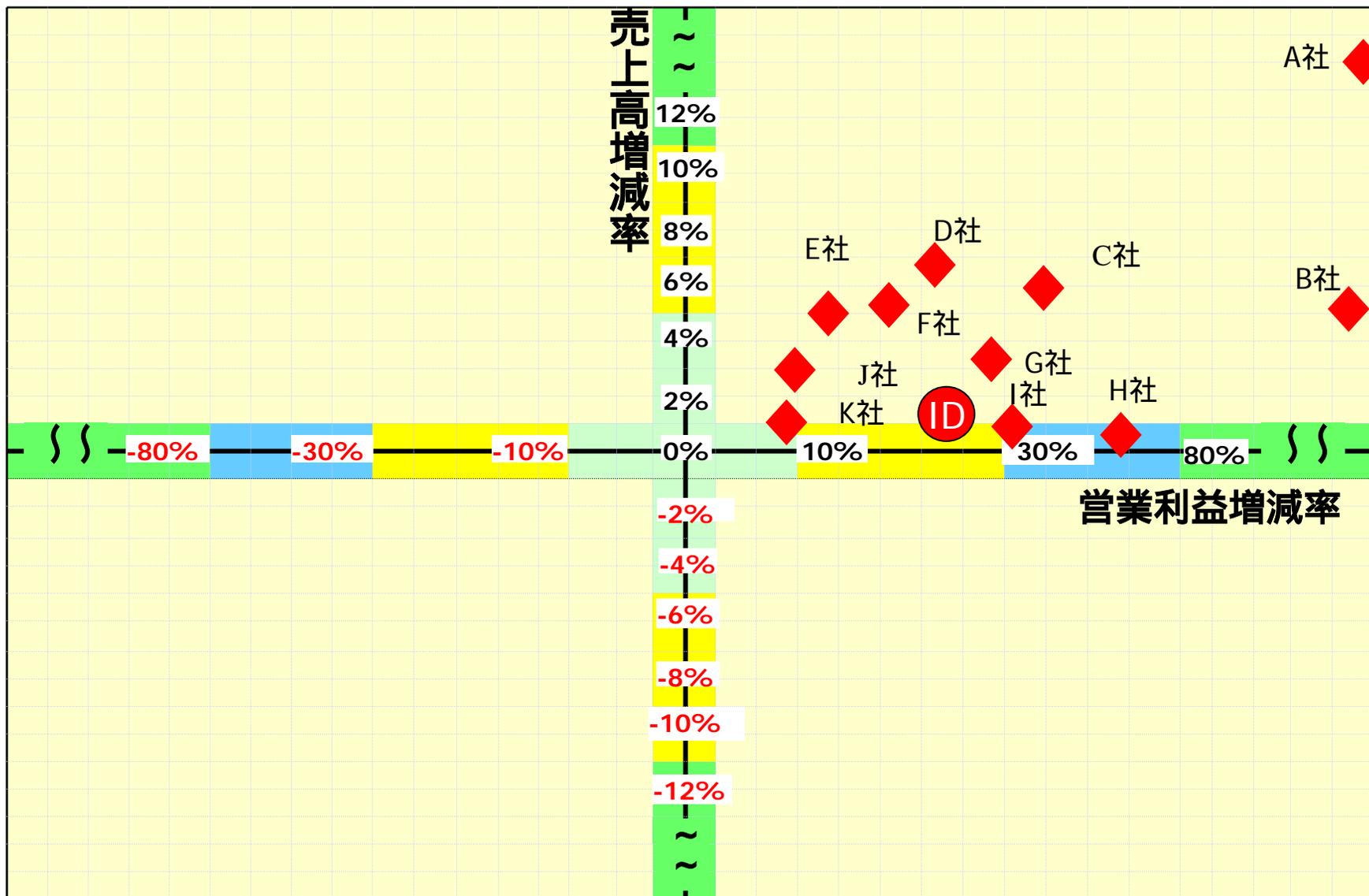


Change or Die!

(百万円)	2010.3	構成比 (%)	2011.3	構成比 (%)	前期比
売上高	17,263		17,500		+1.4%
売上総利益	3,319	19.2	3,470	19.8	+4.5%
販管費	2,468	14.3	2,420	13.8	△2.0%
(のれん償却額)	150		78		△48.0%
営業利益	850	4.9	1,050	6.0	+23.4%
経常利益	864	5.0	1,050	6.0	+21.5%
当期純利益	155	0.9	550	3.1	+254.7%
1株当たり 当期純利益	20.88円		74.04円		+53.16円
1株当たり 配当金(予定)	19円		19円		

同業他社の通期予想 (2011年3月期)

Change or Die!



出所) 各社2010年3月期決算発表資料より当社作成

顧客の感動を呼ぶサービスと新たなIT市場への進出

顧客の戦略パートナーへ
下請け体質からの脱却

脅威

成長ドライバー

IT投資の縮減・
延期・凍結

ストロングポイント
の強化

新サービスの
強化

新市場の強化

サービスの統合

クラウド

中国への深耕

- ・システム運営管理ノウハウ
- ・オンサイト個別開発・保守

- ・ITの工業化
- ・プライベートクラウドの普及

- ・成長市場で優位性を確保
- ・高品質ソリューションの投入
- ・現地企業との提携

ソリューションの
コモディティ化

社内の強化

脅威

脅威

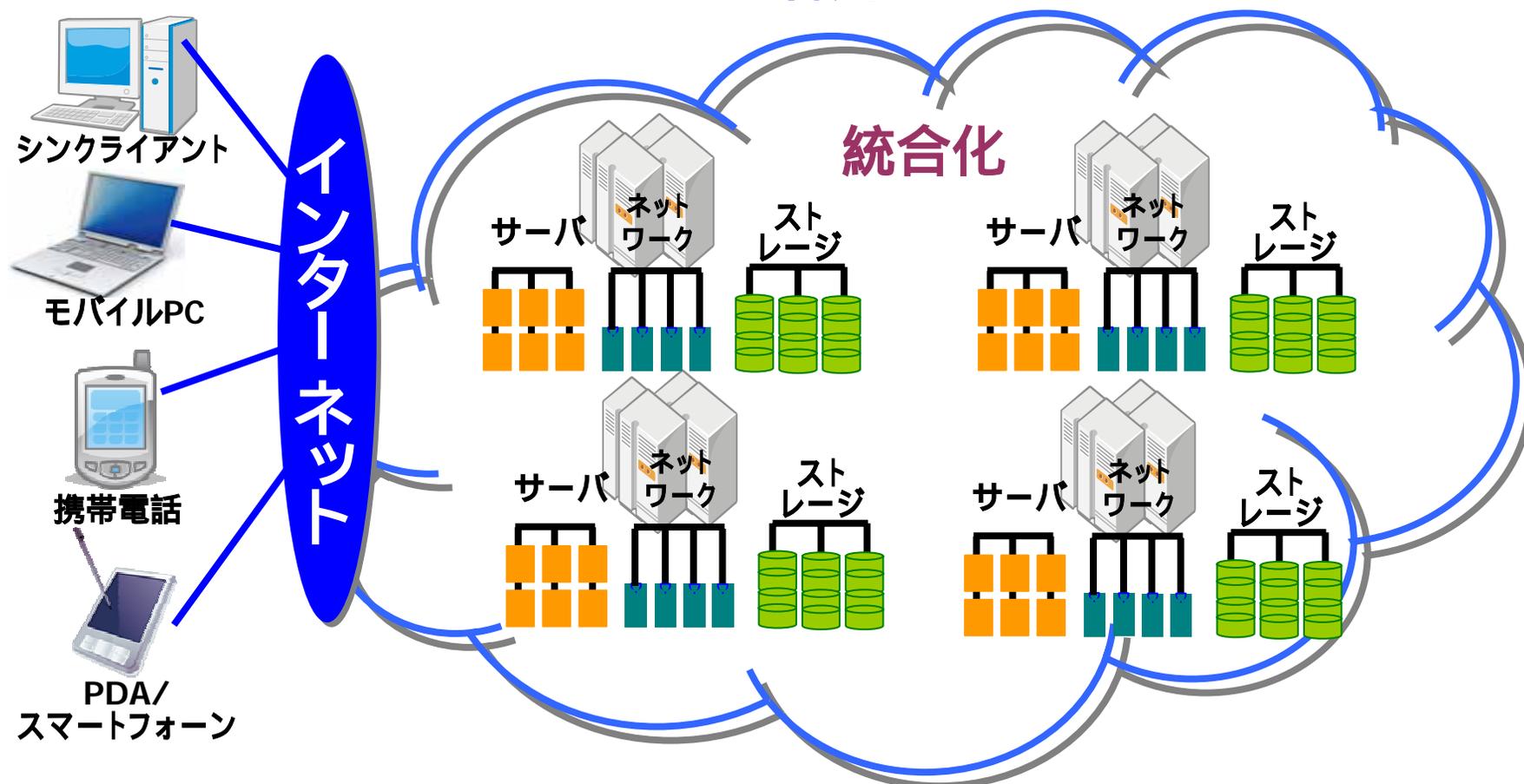
業界の人気低下

人材の育成

オフショア化による
価格低下

クラウドコンピューティングは一時の流行から実用段階に

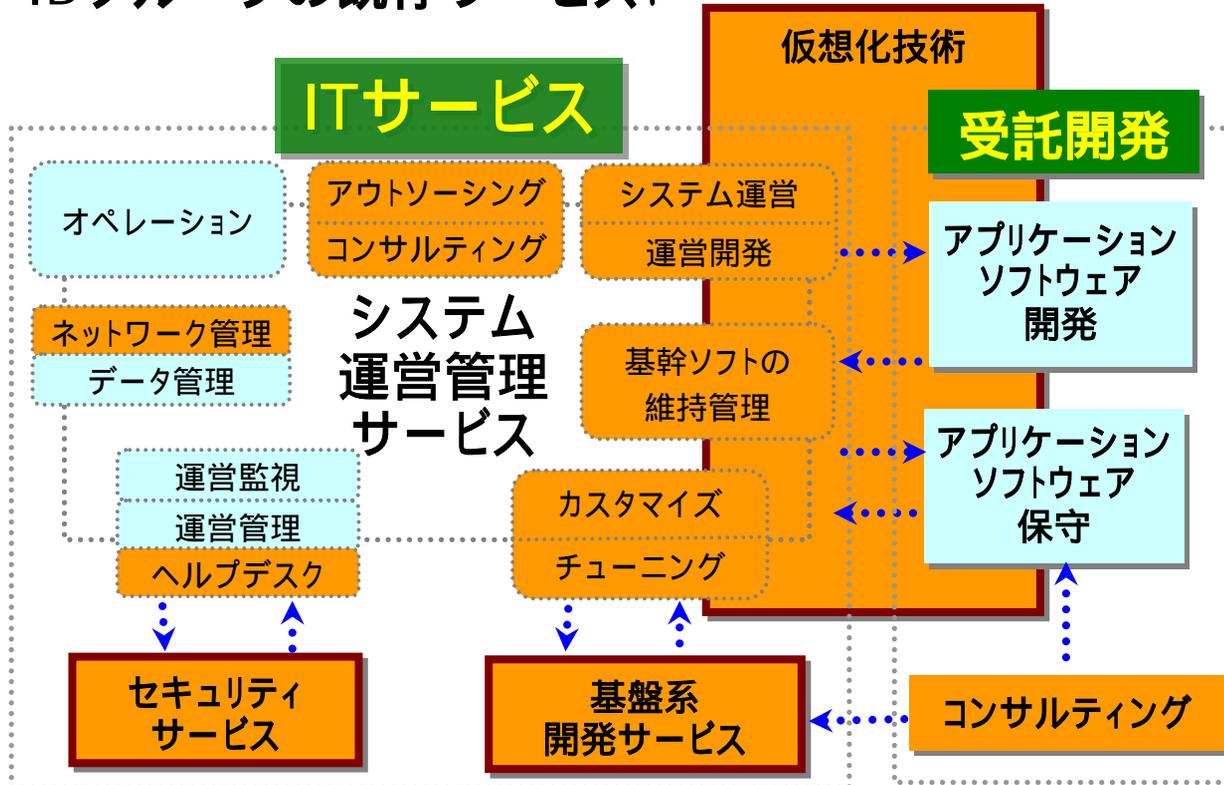
巨大データセンターに資源を集約・統合し、サービスとして利用する



Change or Die!

クラウドコンピューティング市場拡大に対応した業務の集約化

IDグループの既存サービス:



新規サービス



Change or Die!

グループ全体のBOO戦略*で既存顧客を深耕

*BOO戦略: ビジネス・オペレーションズ・アウトソーシングの略称で、川上から川下までの一括サービスを提供する戦略です。

既存顧客:

システム
運営管理

ID CS
ID武漢

ソフトウェア
開発・保守

ID SD CS
ID武漢

BPO

ID CAT
ID武漢

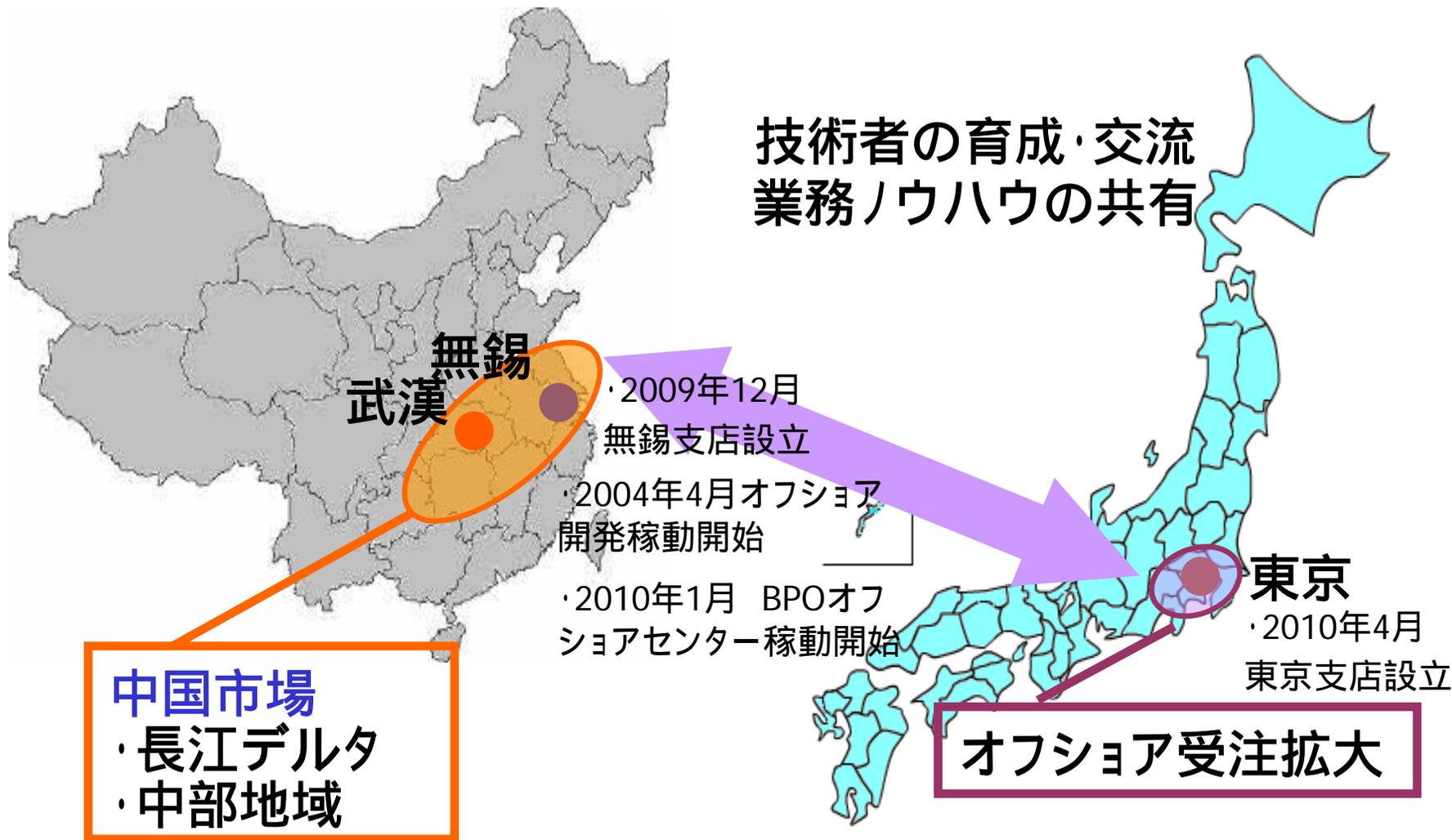
	A社	B社	C社	D社	E社	F社	G社	H社
システム 運営管理	既存業務	<u>Target</u>	<u>Target</u>	既存業務	<u>Target</u>	<u>Target</u>	既存業務	<u>Target</u>
ID CS ID武漢		既存業務	既存業務					新規獲得
ソフトウェア 開発・保守	既存業務	既存業務	<u>Target</u>	既存業務	既存業務	既存業務	<u>Target</u>	既存業務
ID SD CS ID武漢								
BPO	既存業務	既存業務	既存業務	既存業務		新規獲得		
ID CAT ID武漢		<u>Target</u>	<u>Target</u>		<u>Target</u>	<u>Target</u>	<u>Target</u>	<u>Target</u>

プライド社活用

ID武漢オフショア活用

主力事業のオフショア活用及び中国市場の開拓

Change or Die!



私たちは、わくわくする未来創りに参加する情報サービス企業です。

法令順守の徹底

- ★ コンプライアンスハンドブックを作成し、全グループ社員に配布
 - ★ コンプライアンス勉強会をグループ全社にて実施（年2回）
 - ★ 社内外にコンプライアンス相談窓口を設置
 - ★ 社内CSRアンケートの実施（年1回）
- プライバシーマーク認証取得
 - ISO9001認証取得
 - ISMS(ISO27001)認証取得
 - ITSMS(ISO20000)認証取得

環境保護への取り組み

- ★ ISO14001認証取得
- ★ 「チャレンジ25キャンペーン」に参加
- ★ 地域清掃活動

支援活動

- ★ 华中科技大学ソフトウェア学部（中国・武漢）に「ID奨学金」を設立（現在在籍奨学生6名、計12名）
 - ★ 「湖北経済学院ID日本語講座基金」を設立
 - ★ 华中科技大学ソフトウェア学部および湖北経済学院計算機学院客員教授就任（船越社長）
 - ★ 「J-KIDS」全国小学校ホームページ大賞に協賛
 - ★ シニア向けパソコン教室開催（年2回）
 - ★ 児童心理学研究者の岩宮教授の活動支援
-
- ★ 国連WFP協会（国連世界食糧計画を支援するNPO法人）の評議員に加入
 - ★ ユニセフ（国際連合児童基金）に募金
-
- ★ 新内浄瑠璃の継承者、鶴賀流第11代家元鶴賀若狭掾師匠（人間国宝）の活動支援
 - ★ フルーツアンサンブル「Lynx」とバイオリニスト徳永慶子さんの活動支援

免責事項

本プレゼンテーション資料には、株式会社インフォメーション・ディベロプメントの業績予想、将来戦略、事業計画などの将来情報や経済動向、他社との競争状況などの潜在的リスクや不確実な要素が含まれています。

これらの歴史的事実以外の情報に含まれる予測及び計画は、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断しています。

その為、実際の業績、事業展開または財務状況は、今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、為替レート、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な原因により、記述されている将来予測及び計画とは大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。